

八田原ダムにおける防災操作による治水効果(平成30年9月29日~30日 台風24号)

八田原ダム流域では、平成30年9月29日から30日にかけての台風24号による大雨により、流域平均総雨量133.8mmを記録しました。

このため八田原ダムでは、流入量が毎秒約294m³に達しました。

これを受けて、八田原ダムにおいては、防災操作^{*}をおこない、毎秒約130m³の水をダムに貯留しました。

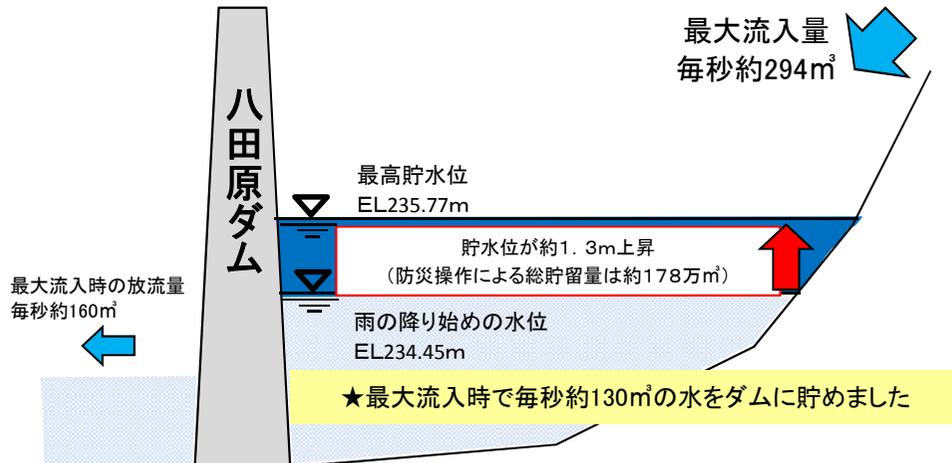
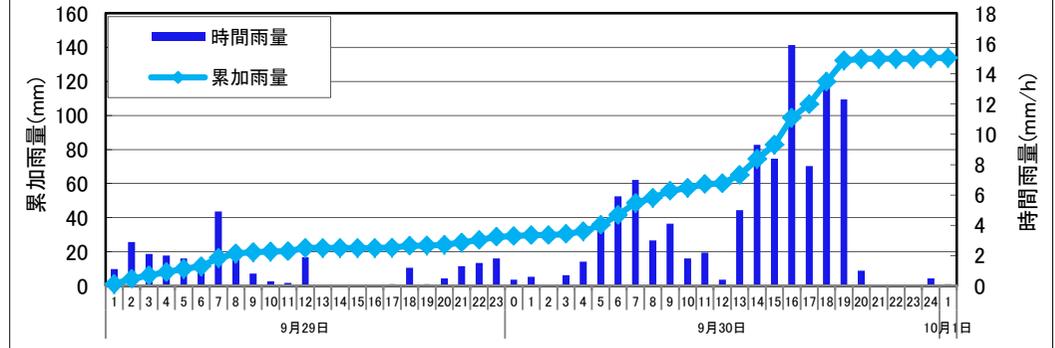
その結果、下流の府中市目崎町付近で水位を30cm低減する効果があったと推定されます。

^{*}『防災操作』とは、大雨などによりダムに流入する洪水の一部を貯水池に貯め込み、放流量を流入量より小さくしてダム下流の河川に流す操作です。

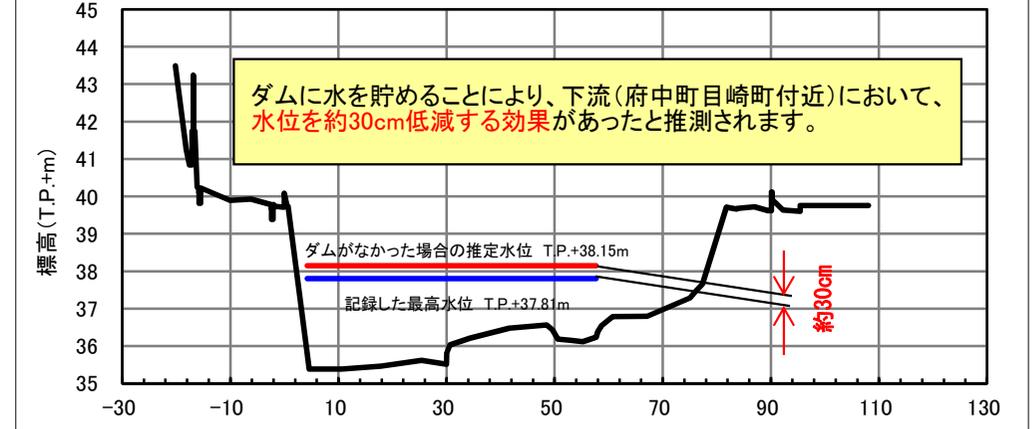
八田原ダム位置図



八田原ダムの流域平均雨量



府中市目崎町付近における八田原ダムの防災操作の効果



※各数値は速報値であり、今後、変わる可能性があります。